

令和7年度自己評価表

1. 学校の教育目標

新潟こども医療専門学校は、学校法人新潟高度情報学園の組織の中の一つであり、その教育理念は学校教育法に基づき「商業実務および教育・社会福祉分野において専門的な知識・技術と合わせ、教養人格度の高い道義・礼節・作法をも身に付けた人材の育成」を目的とした教育機関である。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

こども未来学科・・・ 1年次は学校の基本的なルールを守る
2年次は社会人としての礼儀・マナーの実践
3年次は希望進路に向けた活動に意欲的に取り組むことができる
4年次は学校の模範となれるよう努力し、希望進路への就職の実現を目指す

こども発達学科・・・ 1年次は学生マニュアルの記載事項を遵守し、学生としてふさわしい生活、学習習慣の基礎を培う。
2年次は1年次に培った基礎をもとに、実習経験を積み、より実践的な学びを深める。
3年次は就職年次として、社会人としてふさわしい道義・礼節・マナーを備えた人材を目指す。学習・実習においては、自分の課題を見つめ、自らすすんで学びを深める姿勢を養う。

こども学科・・・ 1年次は学校生活の基本的なマナーを身に付ける（挨拶・清掃・提出物・自己管理）
2年次は目的意識を持った就職活動と実現

医療事務総合学科・・・1年次は①あいさつ・清掃・環境に対する意識向上②納期を守る③礼儀・マナーを身に付ける④目配り、気配りを心掛ける
2年次は①あいさつ・清掃・環境に対する積極性②納期厳守のための余裕を持った行動③社会人として礼儀・マナーを実践④目配り・気配りを心掛ける

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・ 学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 3 2 1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 2 1

① 課題

- a. 普及が加速している I C T 化への対応面にまだ遅れている所がある。
- b. 学校の将来構想において、社会及び業界が求めている保育士の養成及びニーズに応えきれていない側面がある。

② 今後の改善方策

- a. 今年度より、I T 資格取得以外に、こども園で利用されている今後利用されるであろう I C T の教育を導入したが、今後、教職員への内部研修等を行い、充実を図る。
- b. こども系各学科で即戦力となるよう実習を重視し、また、A I の活用など今以上に I C T に強い学生を育成する。

③ 特記事項

特になし

(2) . 学校運営

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

入学者数（在校生数）の減少により、開校当時の運営方針に齟齬が生じ、健全な学校運営を目指すための運営体制、組織整備、事業計画等の見直しが求められている。

② 今後の改善方策

教育の質を保ちつつ、合同授業、複数クラス担任制の導入を取り入れると同時に、効率的で健全な学校運営を行うための学科編成や仕組み、カリキュラム等の見直しを図り、その確立を目指す。
また、新設学科、新コース等の検討も視野にいれていく。

③ 特記事項

特になし

(3-1) . 教育活動 (こども未来学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

- a. 職業教育として小学校でのボランティアを実施しているが、カリキュラムの都合上、十分な時間を割くことができなかった。また、空いた時間に学生がボランティアに取り組むため、同じ日時に何人も実施することになったが、受け入れ側の小学校では日時が偏らないほうが学生を配置しやすい面があり、お互いよりよい関係を築くためにボランティアの方法はさらに改善していけると良いと考えられる。
- b. キャリア教育として、学科内交流を図り学習意欲や職業意識を高めたいと考えていたが、実習や採用試験、ボランティア活動を優先した結果、実施時期が年度末になってしまい、より教育効果を高めるためには時期や回数を見直す必要がある。
- 今年度キャリア教育としてボランティアでお世話になっている小学校から幼稚園での職務経験もある小学校教諭の先生をお招きし話を聞かせていただいた。年度途中で計画し依頼したため一度の開催となった。早い段階で企画準備することが課題である。

② 今後の改善方策

- a. ボランティアの実践について小学校側の意見も伺い、より有意義に実践できるよう実施の方法を適宜見直す。
- b. 講話や授業参観など、小学校と連携して実施できるように前年度から小学校側に相談し依頼を行う。
年度初めに学科内交流の計画を立て、学生間で学習や職業に対する意識を高められる機会を設ける。

③ 特記事項

特になし

(3-2) . 教育活動 (こども発達学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	④	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4	③	2	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

外部関係者、外部機関からの評価や助言を教育活動に積極的に取り入れる。
研修や学会参加を通して教員の指導力向上を図るとともに、教員自身の知見を常にアップデートする。

② 今後の改善方策

引き続き外部機関との連携を密にし、より一層実践的な職業教育の充実を図る。

教員研修のあり方について、外部の研修や学会のみならず学内での研修を充実させるなど、教員の指導力向上のための取り組みを強化する。

③ 特記事項

特になし

(3-3) . 教育活動 (こども学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4	3	2	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

新しいカリキュラムにはなったが、職員数が減少したことで当初と予定が変わり、目に見えた変化は少なかった。来年度以降もこの状況が続くことが考えられるため、貴重な空き時間の活用方法などを学生に伝えていく必要がある。

② 今後の改善方策

数年前と比較すれば授業の空き時間はあるため、その時間を活用したレポート作成や試験勉強などの活用方法を学生に指導していきたい。日々忙しい中ではあるが、学修の定着が図られているか、学科のみならず教科担当間で協議し、必要なフォローを行っていく。

③ 特記事項

授業アンケートについて後期から回答方法を変更したため、学生の意見がきちんと反映できたものか確認し、学生の満足度に繋げていく必要がある。

(3 - 4) . 教育活動 (医療事務総合学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

クラス内での学力の差が大きく、学力の低い学生に進度を合わせて授業を進めると全体的に遅れが出てしまい、理解の早い学生にとっては退屈な授業となってしまう。

② 今後の改善方策

全体的な進度は中程度の学生に合わせ、学力の低い学生は授業以外の時間を設け、検定や試験の日程が近い科目を優先的にフォローしていく。

③ 特記事項

特になし

(4-1) . 学修成果 (こども未来学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

① 課題

今年度教員採用試験は小学校教諭においては4年生10名が受験し、一次試験通過者が7名、最終的に合格者が6名となった。また、複数の自治体に合格する学生もいた。また、卒業生も1名合格している。一方で養護教諭は今年度も一次通過は叶わなかった。養護教諭の専門科目においては得点が取れているが、一般教養と教職教養の試験の結果が芳しくなく、足を引っ張っている状況であった。今後は専門科目だけでなく、一般教養や教職教養など得点の取りこぼしがないよう万遍なく学習を進めることが課題である。

また、今年度より新潟県小学校教諭採用試験の大学3年生受験が通信制の学生も可能となり、大学から推薦を受け3年生2名が受験した。一次試験を通過したが、対策が不十分のまま2次試験の面接となり、合格には至らなかった。3年生受験することを前提に2次試験の対策を前倒して実施し、合格できるよう道筋を整えることが課題である。

② 今後の改善方策

- ・ 3年生受験での合格を見据えた受験対策スケジュールを学生と相談し計画する。
- ・ 養護教諭の採用試験を目指す学生独自の対策授業を実施する。
- ・ 1、2年次より公務員試験のスケジュールを周知し学生自身で考える時間を持てるよう支援する。

③ 特記事項

特になし

(4-2) . 学修成果 (こども発達学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1

① 課題

入学者数が少なかったこともあるが、休退学者はなかった。担任と学生間で困りごとなどを相談する関係性が構築されていたと感じる。

こどもまつり、各教員レベルでの個別のやり取りにより、卒業生との接点は一定数あり、それを基に教育活動に反映されている部分はある。

② 今後の改善方策

入学の目的および意欲が希薄であったり、情緒が不安定な学生が入学することは、今後も十分に予想される。学生支援・教育内容の充実を図ること、その強みを教職員自身が理解しておくことが、指導力の向上、退学抑止に繋がると考えている。

③ 特記事項

特になし

(4-3) . 学修成果 (こども学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1

① 課題

今年度は精神的に課題を要する学生の対応に時間がとられ、他の学生へのケアが遅くなった。入学直後はどの学生も不安に感じており、クラスメイトの言動に影響を受けやすいためそれぞれへの丁寧な対応が必要だが、それが不十分であった。

② 今後の改善方策

- ・クラス内での居場所が作れるよう、クラスの人と関わる機会を増やすことで、さまざまなグループで自分の居場所ができるようにする。
- ・多様な問題を抱えた学生が年々増加しているため、スクールソーシャルワーカーとの連携を深めていく。

③ 特記事項

様々な課題を抱える学生が入学しているため、課題把握を迅速に行い、担任だけでなく複数教員で協働しながら対応していくことが必要である。

(4 - 4) . 学修成果 (医療事務総合学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1

① 課題

就職に関しては学校での学びや医療機関での実習の経験だけでは想像できない部分が多く、現場での仕事内容や人間関係を含めギャップに戸惑うことが多い。

② 今後の改善方策

内定した早期就労先からの評価と、学生本人からの評価を比較し、認識の相違がないかチェックをする。また、トラブル等なくても学生に月1度程度連絡を取り、不安や不満が大きくなる前に吐き出せるよう促す。

③ 特記事項

特になし

(5) . 学生支援

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・ 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

〔 特になし 〕

② 今後の改善方策

〔 〕

③ 特記事項

〔 新潟県公立学校教員採用選考検査の現役合格＝4名
埼玉県公立学校教員採用選考検査の現役合格＝1名
新潟市立学校教員採用選考検査の現役合格＝1名
公立保育園保育士合格＝2名 いずれも正規 〕

(6－1) . 教育環境（こども未来学科）

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

〔 インターンシップやボランティアさせていただける場所は多くあるが、受け身の学生が多く、環境をうまく活用できていない様子がある。 〕

② 今後の改善方策

インターンシップやボランティアできる場所があるという環境設定だけを行うのではなく、その環境を活かす実践活動に繋がるよう、実践できる場所や日程を学生ごとに個別相談を行うところまでを教育環境として整える。

③ 特記事項

特になし

(6-2) . 教育環境 (こども発達学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

運動に関する授業をおこなうための設備、空調等の環境設定が充分とは言えない。
防災についての意識づけと知識が充分ではない。

② 今後の改善方策

引き続き、多様な教育活動を展開できるようにするための施設・設備の整備に努める。
避難訓練については、学校としての防災体制の視点からだけでなく、学生も学びが得られるような計画ができれば、より成果効果が高いと思われる。

③ 特記事項

特になし

(6-3) . 教育環境 (こども学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

講堂での授業は階下の教室に足音や声が伝わり、当該教室で授業を受けている学生に影響している。
思い切り体を動かす活動が、学内では難しくなっている。

② 今後の改善方策

授業内容が制限されないよう、公共の体育館の利用を積極的に進める。

③ 特記事項

特になし

(6-4) . 教育環境 (医療事務総合学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

教室と実習室が同じフロアにあり、移動の必要がないため環境としては問題ないが、階上の大講堂での運動系の授業の際に足音が響きやすい。

② 今後の改善方策

大講堂での授業がある時間は窓やドアを開けない。対策授業のような集中したい授業と重なる際は空き教室などへ移動する。

③ 特記事項

特になし

(7) . 学生の受入れ募集

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

18歳人口の減少、大学進学率の向上など学生募集を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、専門学校や設置分野に興味を持ってもらう必要がある。
学校を認知してもらい、特長や魅力を多くの人に伝えることで出願対象として選んでもらう必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 県外や既卒者に対しても積極的にPRする。
- ・ 学校のPRだけに留まらず、専門学校での学びや職業の魅力もPRする。
- ・ 広報手段を見直してメディアを使い分けることで、潜在層と顕在層それぞれに対する的確なアプローチを行う。

③ 特記事項

特になし

(8) . 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

在校生数の減少による収入の減少

② 今後の改善方策

学生募集の強化等
魅力ある学校づくり等

③ 特記事項

特になし

(9) . 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

寄附行為改正等の対応を適切に実施し、より一層の法令順守、ガバナンス強化に努める必要がある。

② 今後の改善方策

個人情報漏洩に係る業務過誤賠償責任保険への加入を継続する。
また、ガバナンス強化のため、第三者の目線を取り入れた監視・評価体制を構築する。

③ 特記事項

特になし

(1 0) . 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

① 課題

コロナ禍以降、ボランティアの案内も減少している。学生にとって有益であると判断された活動には、学校から積極的に参加を促していきたい。

② 今後の改善方策

教員の研究活動の補助を行うような活動をもっと取り入れてもよいのではないか。
いざ参加してみれば、学生自身が学びと満足度を得られるものも多い。
今後も積極的に参加を促し、ボランティア活動に対する意識啓発を行いたい。

③ 特記事項

学校あげての計3日間の「こども祭り」（園児や地域の子育て家庭が来場）、未来学科による万代長嶺小学校「ふれあいスクール事業」への参加、発達学科による人形劇公演など、学びの成果を活かした学生の地域貢献は積極的に行われたように思う。また、例年参加しているボランティアにおいて、本学学生が高い評価を受け、本学に直接依頼を受けた活動があった。学校認知度アップを兼ね、新たに参加したボランティア活動もあった。

(1 1) . 国際交流（必要に応じて）

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項